配置場所ノ如何ニ依リ運輸系統ノ
短キ個所ハ常ニ一日ノ執務乗車時間
ニ達セザルニ拘ラズ、之ニ反シ運轉系統長キ
個所ハ心労セズシテ容易ニ乗務時間ニ達スル有様也
例ヘハ熱田出張所從来ノ運轉系統中
水主町大曽根ハ常ニ執務乗務時間
ハ時間ヲ超エ二三分ノ餘裕アリト云ヘ（全）
出張所ノ熱田、名古屋駅間、熱田覚
王山間ノ如キハ如何ニ精励スルモ一日ノ

乗務時間七時間ト卅分ニシカ達セズ其結果十
五ノ日曜日、祭日、一日、十五日等ニ於ケル時
間外勤務及振休（八日目ノ公休日ニ命ニ
依リ出勤スル場合）等ニ依ル勤務時間ヲ
執務乗務時間ノ不足分ニ充テシムル
者アリ若シ此ノ如クンバ一月ノ収入上多大ノ
影響ヲ及ボスノミナラズ熱田出張所ニ於ケル
下ハ本月分ノ時間外勤務無[illegible]ニ
右事情御揚ケ御詮議ノ結果時間外勤務